

北九州市立病院機構 第38回理事会議事録

1 日 時 令和8年6月30日(火) 11:00～

2 会 場 総合保健福祉センター（アシスト21） 6階 61会議室

3 出席者 中西理事長、白石副理事長、大野理事、岡本理事、大賀理事、田中理事
（オブザーバー）中野監事、和唐監事、小野保健福祉局健康医療部長

4 議 案 (1) 令和7年度決算について
(2) 令和7年度業務実績報告書について
(3) 経営再建方針（案）について

5 議事要旨

- 議案1 事務局から議案説明を行い、原案どおり可決された。
- 議案2 事務局から議案説明を行い、原案どおり可決された。
- 議案3 事務局から議案説明を行い、原案どおり可決された。

6 質疑応答要旨

（大賀理事）

経営再建方針における事務制度改革において、両院の連携についてはどのような計画で進めるのか。

（藤村経営戦略課長）

現状、

- ・ 決裁資料を紙ベースで持ち運びしていること
- ・ キャッシュアウトしてから収支が確定となっていることから、経営に関する数値が約2か月後となっており、経営判断に遅れが出ていること

という課題がある。

今後、民間病院のやり方等を情報収集しながら長期的な視点で見直しに取り組んでまいりたい。

（大賀理事）

DXに関わる部分でもあり、(DXは)進み方が速いため、適切に対応していただくよう希望する。

また医師確保については、働き方改革等もあり、医師だけでなく医療人の確保が非常に厳しくなっている。両院において適切な人材を配置するためにも、各種システムの統合等により、現場の医療人の効率性が上がるよう取り組んでいただきたい。

（中西理事長）

両院の人事交流等は重要であるが十分とは言えない。本部が中心となり、事務改革だけでなく医療DXについても本部と両院の代表が集まり、共通化によるメリットがあるものを共通化できるよう、情報共有を図りつつ進めてまいりたい。

以上